

労働者健康福祉機構燕労災病院
〒959-1228新潟県燕市佐渡633
TEL:0256(64)5111
FAX:0256(63)9819
ホームページ <http://www.tsrh.jp>
Eメール tsubame@tsrh.jp

(燕労災病院院外広報誌)
発行日 2010年03月号
発行者 宮下 薫

燕ろうさいつうしん

【みなさまへ】 燕労災病院看護部長 岡本 民子

病院の基本方針

- ◎安全で質の高い医療の提供を目ざします。
- ◎勤労者の健康管理を支援します。
- ◎医療に関する教育・研修を支援します。
- ◎健康を守り福祉を大切にします。

目次:

*燕労災病院看護部長より: 挨拶	1
*職員紹介: 手術看護認定看護師の活動について	2
*お知らせ1: 院内感染対策研修会のお知らせ	
*お知らせ2: 院内安全研修会を開催しました	3
*お知らせ3: 人工透析室移設増築工事の状況について	
*編集部より	3
*外来診療科別担当医師表	4

平成20年4月1日、燕労災病院看護部長として赴任し、早いもので2年が過ぎようとしています。当院は昨年30周年を迎え、新たなスタートと職員一同がひとつになり歩み始めました。労災病院は勤労者医療の推進と地域の中核病院として貢献することを使命としています。当院の設立には地元の方々の熱い要望があったとお聞きしました。創設以来、地域住民のみな様に支えられ今日があると感謝申し上げます。

さて、当院看護部についてご紹介します。看護部は病院の理念を受け次のような理念を掲げています。私たちは、

- ☆「思いやりの看護」 患者さまの生命、人権、意志を尊重し、
ここに添える看護を実践します
- ☆「安心の看護」 安全で安楽な環境の基で、
継続性のある看護を提供します
- ☆「信頼される看護」 看護職員の教育と研修を推進し、
期待と信頼に応える看護部をめざします

燕労災病院の看護職員は約200名で構成され、病棟（6セクション）、中央手術室・中材、外来・透析室で高度な医療と多様化する患者さまのニーズに対応できる質の高い看護を提供し、健康を回復していただくための支援ができるよう、日々研鑽しています。

入院患者様には、各病棟が看護の質の確保と責任の明確化のため、受け持ち看護師制をとっていますのでご相談いただければと思います。外来患者様には、各科の診療介助だけでなく、検査、救急対応、インフォメーションなど通院でのご相談に応じています。手術室は、入院・外来の患者様に安心して手術を受けていただけるように配慮しています。また、勤労者予防医療センターでは、健診活動における健康相談に対応しています。

当院では、地域で増えてきている透析患者様のニーズに応えるため、移設増築工事を行なっています。平成22年度にはベッド数を30床に増床し、新しい療養環境で治療を受けていただけます。また、神経難病で重症化し医療を必要とされる患者様に対応できる体制を整えることや、がん患者様への緩和ケア外来など積極的に取り組む方針です。これからも、皆様が「安全・安楽・安心」でき、選んでいただける病院をめざし、個々の患者様のニーズと信頼に応え、満足していただける看護ケアの提供ができるよう、一層の努力を致していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



【職員紹介】手術看護認定看護師としての活動

藤田美佐子

手術看護認定看護師の藤田です。

皆さんが手術室看護師に抱くイメージは、医師に手術で使用する器械を渡したり、心電図や血圧のモニターを観察するなどTVドラマでみるような世界ですか？その通りです。でもその他にも様々な役割があります。



手術を受ける患者さんは、麻酔をかけられるので、痛みや自分の意思を伝えることができません。手術室看護師は、手術を決断された患者さんや御家族が安心して手術を受けることができるように、患者さんのプライバシーと安全を守り、手術や麻酔が円滑に行われ、精神的・身体的な苦痛が最小限になるように看護を行っています。

手術室で行われている看護

- ☆手術前に病室に伺い、患者さんに手術室で行われる麻酔や処置の説明、不安への援助
- ☆患者間違い、手術部位間違いの防止
- ☆体温管理
- ☆静脈血栓予防
- ☆褥瘡、神経障害の防止
- ☆体内にガーゼや器械、針を残さないためのカウント
- ☆感染を起こさないための器械・物品管理の徹底、衛生的な環境整備



認定看護師としての活動

私は今、手術室スタッフの一員として手術看護の実践を行いながら周手術期看護の充実を目指して活動しています。スタッフの専門知識や技術の向上のための学習会や、日頃の看護実践の中で困っている事やケアの具体的な方法について相談を受けたり、指導を行ったりしています。最近、『全病棟共通の術前チェックリスト』を作成し、手術患者さんの術前検査や術前処置、内服薬や必要物品の確認、ドレーンやアレルギーなどの必要な情報の確認が確実に行われ、安全に手術を受けることができるように努めています。また、患者さんや御家族のご要望があれば、手術前・後を問わず手術室で行われる治療や処置に関して分かりやすくご説明し、心配や不安が軽減するように支援していきたいと考えています。お気軽にご相談ください。

【お知らせ1】 院内感染対策研修会のお知らせ

3月18日（木）17時30分から、外来中央ホールにて次のとおり講演会を開催致します。

講演内容： 今シーズンのインフルエンザについて

講師：水澤内科医院

院長 水澤 彰郎 先生



インフルエンザは予防が大切です。手洗いやうがい、咳エチケットを守っていきましょう！

【お知らせ2】 医療安全研修会を開催しました

2月10日に「より安全な輸血を目指して」の内容で新潟県赤十字血液センターの方より講演をして頂きました。輸血用血液の取り扱いや輸血過誤の防止について、わかりやすい説明を受けました。

私たちの体を流れる血液の成分はいろいろありますが、輸血用の血液は、赤血球濃厚液・新鮮凍結血漿・濃厚血小板などがあります。輸血は皆さまからの献血により成り立っており、適切な処理を施して必要とされる方に届けられます。当院では年間約2000本の血液が使用されています。輸血というのは「血液という臓器」の移植です。血液を正しく取り扱い、輸血過誤を防止するために要所所で「照合」を行っています。



正しい患者様

正しい薬(正しい単位)

正しい時間

正しい量

正しい方法 これら5つのことを常に意識しています。

これからも安全な医療を提供できるよう、日々研鑽して参ります。

【お知らせ3】 人工透析室移設増築工事の状況について

新しい人工透析室の5月オープンに向けて工事が進行中です。地域の皆さまのニーズにお応えするために、14床から30床への増床を予定しています。現在、工事の初期段階を終え作業は順調に進行しています。今後の進行状況については燕ろうさいつうしん4月号でも詳しくお伝えいたします。

【編集部より】

まだまだ寒い日が続いていますが体調を崩してはいませんか？
3月はひな祭りですね。早く暖かくなり、桃の香りを漂わせてほしいです。4月には桜も咲きますし、お花見をして疲れた体をリフレッシュなんていかがでしょうか。

私の場合は『花より団子』なので食べ過ぎないように注意が必要ですけども。

(記：酒井)

